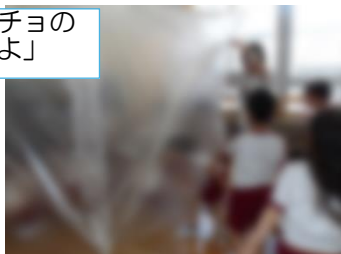
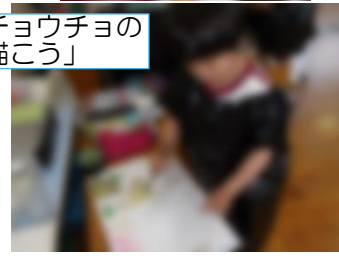




「チョウチョの
おうちだよ」



「くすぐったい。
かわいいね」



「チョウチョの
絵描こう」



アオムシがチョウになりました。毎日アオムシの成長を楽しみにし、葉っぱのごはんも当番の友達が毎日取りに行ってお世話をしました。サナギになってからも「いつチョウチョになるかな」と楽しみにしていました。

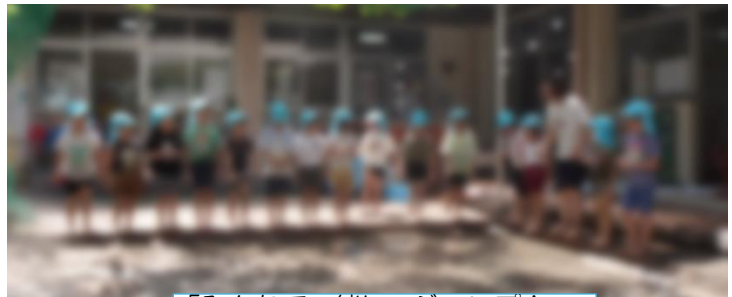
念願のチョウになった日。皆、大喜びです。チョウを見ていました。画用紙でチョウや花をつかって、本物のチョウに「お花だよ」「お友達のチョウチョだよ」と見せたり、図鑑をもってきて、チョウの身体を細かく観察する姿も見られました。

そこで、チョウを触れ合うことができれば良いと考え、そら組のお部屋の中にビニールハウスをつかって、その中でチョウを放しました。チョウに触れたり、チョウにパーサートを近付けて話しかけたり、親しみをもって触れ合ったりする姿が見られました。

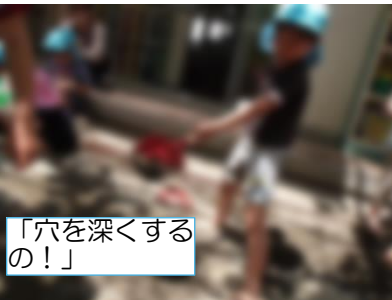
チョウの本に「チョウになってから20日くらいしか生きられない」という言葉に、そら組の子どもたちは衝撃を受けた様子でした。「人間は何年も生きるのに…」という素直な感想が印象的でした。いっぱい空を飛んで遊んでほしいと願い、

逃がすことに決めました。もも組の頃とは違い、チョウを細やかに観察し、チョウの考えに思いを馳せ、考える姿に成長を感じました。

毎日泥んこ遊びへのご協力ありがとうございます。存分に水や泥を楽しんで遊んでいます。もも組の頃とは違い、「どうやって水を流そうか」「友達の掘った穴と繋げたらどうかな」「もっと深く掘ったほうがいいのかも」などを考えて、遊んでいます。樋をどうやって繋げばいいかについてもよく考えて遊ぶ姿が見られます。お部屋でも樋を繋げて、ボールを転がして遊んでいます。友達と一緒に考えたり工夫したりして遊ぶ楽しさを感じている姿は、まさに年長児らしい姿だと感じます。



「みんなで一緒に、ジャンプ！」



「穴を深くするの！」



中之島公園・天神浜への遠足では、もも組とあか組を最後まで優しく連れて行ってくださる、頼もしいそら組でした。また皆で、楽しいところにたくさん遊びに行きましょうね！

